

バド王国 復権へ 新たななる挑戦!

王者に挑む 期待の新星

佐藤誠志

1年/日吉台中出身/170^{cm}

右利きの蔦林拓斗と組むダブルスでは左利きの特徴を生かし、相手を左右に揺さぶり翻弄する。フォアからもラウンドからも打てるカットが武器で、そこから崩して攻撃につなげる展開を得意とする。苦手だというレシーブ力をさらに磨くことが課題だ。「試合はいつも楽しい。まずはベスト8入りを確実にし、さらにその上を狙えるよう頑張りたい」

蔦林拓斗

1年/七郷中出身/170^{cm}

武器となるような決め球はまだ持っていないが、粘り強さには自信あり。相手の出方をじっくりと待ち、ミスを誘い、チャンスを見逃さない集中力もある。「しっかりしたレシーブから速い攻めに展開できるように、スピードを意識して練習したい」。自分から攻める展開に持ち込めるよう、後衛からの速いスマッシュなど、大事な局面で決めきれる力を身に付けたい。

東北生活文化大高校

男子
MEN

TOHOKU SEIKATSU BUNKADAI

本間匠

1年/富沢中出身/172^{cm}

ラケットワークがうまい技巧派で、高いレシーブ力が持ち味。時には相手の意表を突くトリッキーなプレーを繰り出すこともあり、相手に展開を読ませない。安住翼と組むダブルスでは、自身の正確なレシーブから安住のパワフルな攻撃につなげる展開を得意とする。新人戦ではベスト16に入るも「小さなミスが多かった。もっと丁寧にやらなければと反省した」と課題も得た。

阿住翼

1年/鹿島台中出身/178^{cm}

酒井正彦監督も太鼓判を押す、チーム1のパワーヒッター。高い位置から打つジャンピングスマッシュは重さもスピードもあり、抜群の攻撃力を持つ。シングルスでは、昨年夏のジュニアの大会でファイナルまで進んだほどの実力の持ち主。「3年でインターハイに出場することが目標。今年は体力とレシーブ力の強化に取り組み、ウルスラとの差を少しでも縮めたい」